資料６

# 公益財団法人オイスカ

事業内容　：　アジア・太平洋諸国・南米などにおける、主として
　　農林業分野の　人材育成・農村開発・環境保全
創　　立　：　１９６１年（昭和36年）
法人格取得：1967年（外務・農林水産・通商産業・労働４省認可）
　　2011年公益財団法人移行（内閣府認可）
理　事　長　：　中野 利弘（なかの としひろ）
職　員　数　：　３００人（　約２００人が外国人現地駐在員　）

主な実績　：
▽国連諮問資格：ジェネラル認定　（1995年）
▽国連地球サミット賞受賞　（世界NGO部門代表、1992年）
▽国連青年功労賞受賞　（世界初、1989年）

# オイスカが行っているESD事例

## 「子供の森」計画

**体験型学習を重視した環境教育＆植林活動**

**子どもたちの可能性**

- ☆ 未来の社会を担う大きな存在
- ☆ 優れた感性で直感で理解
- ☆ 社会（特に親）に影響力
- ☆ 学んだ「感覚」は生涯忘れない
- ☆ これからの人生で周囲や次の世代への伝承が可能

**アジア・太平洋地域を中心に**
**世界３３の国と地域で展開**

「子供の森」計画：

# 子どもたちによる植林活動の支援

主役は子どもたち。
学校や周辺の地域に木を植え育てる活動を支援します。
自分たちで育てた森は未来に渡って子どもたち、そして村自体を守り育みます

体験を通した経験は生涯忘れない

「子供の森」計画：

# 自然を愛する心を育む環境教育

自然や緑を大切にする気持ちを育み実践できる力をつけるために植林活動の他に

- エコキャンプ
- アグロフォレストリー
- 生ゴミからの堆肥づくり
- ゴミのリサイクル活動

など

楽しみながら学べる多くの活動を取り入れています。

# 「子供の森」計画：
# 学校発、地域社会へ展開～ふるさとづくりへ～

子どもたちの一所懸命に取り組む姿は、親や地域の大人の心を動かし、地域全体の取り組みへと発展していきます。

また学校への教育文具や施設支援などを通じて、子どもたち・地域の未来に協力します。

OISCA-International

「子供の森」計画

チルドレン・フォレスト・プログラム

# ３３の国と地域
# 4,650の学校が参加

Small Hands Plant Earnestly
Children plant saplings with great care and develop forest for themselves and their community.

**CAUCASUS**
Azerbaijan

**MIDDLE EAST**
Israel
Palestine
UAE

**AFRICA**
Ethiopia
Kenya

**ASIA**
Bangladesh
Cambodia
China
India
Indonesia
Japan
Malaysia
Mongolia
Myanmar
Nepal
Pakistan
Philippines
Sri Lanka
Taiwan
Thailand

**SOUTH PACIFIC**
Fiji Islands
Papua New Guinea
Palau
Timor-Leste

**NORTH AMERICA**
U.S.A.

**CENTRAL AMERICA**
Honduras
Mexico

**LATIN AMERICA**
Argentina
Brazil
Paraguay
Uruguay

Important Lessons in Ecology and Nature's Blessings
Environmental seminars teach schooling children about global environmental problems, how to raise trees, and love and nature the nature.

平成25年度の植林実績
100,900本　98.36ha

Spreading CFP Leads to Community Solidarity
Inspired by the Children's attitude community starts undertaking activities for the promotion of Environmental Conservation in their area.

# 日本と海外をつなぐ仕組み
# ⇒様々な形・協働での支援の呼びかけ

- ベルマーク、書き損じはがき、古本回収を通じた支援
- 店頭募金、売上の一部等のマッチング
- インターネットを通じたクリック募金
- 交流ツアー、植林ボランティアツアーの実施　　等

# 日本と海外をつなぐ取組
# ⇒各地域のアクションをつなぐ
## （生物多様性条約事務局のグリーンウェイブ等）

それぞれがそれぞれの地域を想い、自分たちにできる身近なアクションとして・・・

国際理解・交流の機会として・・

# 日本と海外をつなぐ取組

## ⇒日本とアジア地域の子どもたちが共に参加し学び合う交流活動（子ども親善大使事業）

各国と日本の環境問題や自然環境に関する相互発表会

「自然との共生」や「循環型社会」をテーマとした取組や地域の文化の相互発表

地球視野での取組や協働取組に関するディスカッション

合同植林や絵画作成などの記念合同活動

# 国内啓発（海外の状況を伝える）

啓発の発信拠点

- 全国にある14の支部と46の支援団体
- 会員数4,471件
  （個人会員2,944件、法人会員1,527件）
- 国内4か所の研修センター

→国際協力やグローバルな課題を、一般市民に広め、行動につなげていく。（講演会・セミナー、体験プログラム）
→1961年の設立した当初からの変わらない方式

# オイスカ研修センター：国際理解へつなぐ

- 海外の研修生を通じて、異文化を知る

- 海外の研修生と共に、様々な体験をする

# オイスカ研修センター：国際理解へつなぐ

- 海外の研修生を通じて、異文化を知る

- 海外の研修生と共に、様々な体験をする（有機農業、植林）

# 国内啓発：日本の課題を解決する「間伐材によって作られたつみ木の普及活動」

## ＜活動の目的＞

①「子ども達の創造性と協調性を育む」

②「環境教育」：森からの恵みを子ども達にプレゼント。木の香り、感触を感じてもらう。→ 森に興味をもつ第一歩

③「森づくり活動」：間伐材の有効活用

← つみ木のシャワー。木の香り、ぬくもりを感じる。

子供達の創造力は。みんなの作品をつなげて「つみ木王国」の完成！

# 海岸林再生プロジェクト10ヵ年計画

**東北にもう一度白砂青松をとりもどしたい！**

海岸林再生プロジェクト
イメージキャラクター